

庄教授に特別功労賞 育友会発展に尽力



受賞の喜びを語る庄教授＝11月24日

日高義博理事長から専大と育友会の連携推進に尽力した長年の功績をたたえられ、「記念すべき式典で表彰していただき光栄です」と笑顔で応えた。

埼玉県出身で1967年に専大法学部に入學。当時も育友会主催の「地方懇談会」(現在の支部懇談会)はあったが、庄家は参加していなかった(来年3月まで)15年は歴代最長。表彰式ではなくてもご父母・保護者

に足を運んでもらえる支部懇談会にしたかった。大学との距離を少しでも縮めていただきたいと考へてやってきました」

全国で開催される支部懇談会では、63会場のほぼ全てを回った。最近はやや親と子の関係は同じ。いづれも父・母・保護者にお会いして楽しかった。小宮多喜次校友会

参加するご父母・保護者が増えている。単位が足りず退学寸前の学生が、話し合いで生活を立て直し、卒業していく姿を見ることが多いが、い

同賞の授賞は5人目。ワイン大学開催 ボージョレ・ヌーボー 2018解禁日翌日の11月16日、校友会が主催する第13回ワイン大学が神戸キャンパスで開催された。小宮多喜次校友会

育友会員と談笑する庄教授＝2007年8月5日、長崎支部懇談会



と穏やかに語る。来年3月の定年退職で育友会主任教授の任も解ける。「今後は教員OBとして校友の一人として、育友会の活動を見守っていき

長、小沢一郎経営学部教授、宮岡孝之法科大学院教授、棟居快行法科大学院教授、根岸徹郎法科大学院教授と専大関係者のほか、近隣住民、学生ら約90人が参加し、ワインとトークを楽しんだ。

今年「ワインと映画」で映画に登場するワインたち」と題し、講師として、上原毅氏(昭45経営・北海道)地方自治功労者、瑞宝双光章、小幡幸氏(昭46経営・山口県)日本国外公館業務功労者、黄綬褒章、笠原和博氏(昭49商・新潟県)業務精励(金融業)選 挙 結 果

神奈川県二宮町長選挙(11月18日投票)▽村田邦子氏(むらた)くにご(昭56文)

加嶋伸彦氏(かしま)のぶ(こ)平元(経営)代表取締役社長兼アイフルホームカンパニープレジデントに11月1日付で就任。本社(東京都)住宅フランチャイズチェーン運営。

校友会情報 (岡山支部総会)▽12月26日(水)18時▽JR岡山駅から徒歩7分「ピュアリティまきび」岡横田好雄氏(080-3529-1363)

平成最後の園遊会 日高理事長が出席



平成最後の園遊会が11月9日、東京都の赤坂御苑で開かれ、日高義博理事長が富佐子夫人とともに出席した。写真。天皇、皇后両陛下の主催で、雨の中、各界の功労者ら約1800人が招かれた。日高理事長は2011年の秋の園遊会に続き、2回目の参加となった。

専大校友を訪ねて



小説家 小宮多喜次 (平21文)

少年少女二人の鬱屈した感情を描いた短編『僕らの災い』で2012年、新潮社「女による女のたのめR-18文学賞」読者賞を受賞。鮮烈なデビューを飾った。今年はこのデビュー作の故郷・福島県南相馬市だ。

「集団の中の孤独や心の隙間を表現したい。悩み、あかく中で、一筋差す光を描けたら」眼鏡の奥のまなざしが優しい。子どものころから本好きで、専大に入ったのは文芸

集団の孤独、心の隙間を表現

創作のゼミがあることを知ったからだ。指導は作家でもある小林恭二教授。演劇サークルにも入り、小説、戯曲、漫画や演劇と創作活動に励んだ。09年に卒業し、東京の企業に就職した。小林教授から「感性がいい」と言われた小説は少し書いては、やめ……を繰り返した。「このまま書くことから遠ざかってしまうのか」という状況でした。転機は11年の東日本大震災。故郷は地震・津波と福島第一原発事故で被災。生まれ育った土地を離れる人、残る人に分かれた。

「南相馬の実家は、一番近いコンビニに行くのに、自らの学生時代を見

にも車が必要など。離れたとて離れた生まれ故郷を、あらためて見つめるようになり「震災の翌年、故郷を舞台にした『僕の災い』が誕生した。昨年、8年勤めた会社を辞め、小説家として歩むことを決意。次作は家族をテーマに考えている。

「続けることが大事」前にも進もうとする時にいつも胸に響いてくるのは、恩師・小林教授の言葉だ。デビュー後も『第二の故郷』生田キャンパスの小林ゼミを訪ね、学生の発表を聴く。彼らのひたむきな表情

募金ご協力をお願い

専修大学の教育・研究活動、学生支援、教育施設整備のため、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金

チェア募金

靖国通り神田新校舎(仮称)で使用する椅子の整備に充てます

募集期間 2020年3月31日まで

払い込みには、金融機関・ネットバンク、コンビニ、クレジットカードのご利用が可能です

古本募金

～本で繋ごうオール専修の絆～

読み終えた本を学生生活を支える奨学金として活用させていただきます

お問い合わせ

専修大学募金局 TEL 03-3265-3157 E-mail: bokin@acc.senshu-u.ac.jp https://www.senshu-u.ac.jp/about/donation/



あなたの身近な、信託パートナー

りそな銀行

RESONA

九段支店

住所: 東京都千代田区九段南1-5-6
電話: 03-3261-1185

みずほ信託銀行 One MIZUHO

信託をより身近に、明日をより豊かに。

資産運用・管理、不動産、相続・遺言など、ご資産に関するさまざまな問題にみずほ信託銀行は長年にわたり培ったノウハウを活かし、お客さまお一人おひとりのニーズに即したソリューションをご提供いたします。